

5 病院事業

(1) 事業数及び経営規模

平成26年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。また、石巻市立病院は東日本大震災により被災し、平成26年度末現在建設中であるが、決算状況調査上は1病院として計上している。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の6病院、200床以上300床未満も前年度と同数の1病院、100床以上200床未満も前年度と同数の5病院、50床以上100床未満も前年度と同数の7病院、50床未満も前年度と同数の7病院となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（456床）、気仙沼市立病院（404床）、みやぎ県南中核病院（310床）、公立刈田総合病院（308床）及び栗原市立栗原中央病院（300床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は前年度と同数の7事業（仙台市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）、一部を適用している事業も前年度と同数の9事業、指定管理者制度（代行制）導入も前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっている。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、事業、％）

経営規模	市		町		一 組 営		計		構 成 比	
	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	病床数	
300床以上	4	1,685	0	0	2	618	6	2,303	23.1	57.2
200床以上300床未満	1	258	0	0	0	0	1	258	3.8	6.4
100床以上200床未満	3	411	1	121	1	170	5	702	19.2	17.4
50床以上100床未満	3	244	3	200	1	90	7	534	26.9	13.3
50床未満	5	152	2	76	0	0	7	228	26.9	5.7
計（病院）	16	2,750	6	397	4	878	26	4,025	100.0	100.0
経営形態	全部適用	5	1	1	7	41.2				
	一部適用	2	5	2	9	52.9				
	指定管理者（代行制）			1	1	5.9				
	計（事業）	7	6	4	17	100.0				

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

平成26年度末における病床数は4,025床で、前年度に比べ47床(1.2%)減少している。病院別では、気仙沼市立病院が47床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,046千人で、前年度に比べ45千人(4.2%)減少し、年延外来患者数は2,019千人で、前年度に比べ52千人(2.5%)減少している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は115人で、前年度に比べ5人(4.2%)減少し、1病院当たりの1日平均外来患者数は328人で、前年度に比べ7人(2.2%)増加している。

病床利用率は71.4%で、前年度に比べ2.0ポイント低下している。このうち、一般病床利用率は71.7%で、前年度に比べ1.5ポイント低下している。

平成26年度末における職員数は4,944人で、前年度に比べ112人(2.3%)増加している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度		22	23	24	25	26	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目		a	b	c	×100(%)			
					年度末病床数	A	4,589	4,308
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,233	1,144	1,116	1,091	1,046	▲45	▲4.2
	外 来	2,177	2,146	2,118	2,071	2,019	▲52	▲2.5
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	121	128	127	120	115	▲5	▲4.2
	外 来	313	328	329	321	328	7	2.2
病 床 利 用 率 (%)		(75.5)	(72.0)	(71.1)	(73.2)	(71.7)	(▲1.5)	—
		75.1	71.8	71.0	73.4	71.4	▲2.0	—
年度末職員数	B	4,991	4,738	4,747	4,832	4,944	112	2.3
一 床 当 たり 年 度 末 職 員 数	B/A	1.09	1.10	1.10	1.19	1.23	0.04	—

(注)1 病床利用率欄の()内は、一般病床分である。

2 平成22年度の年延患者数、一日平均患者数及び病床利用率は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は835億91百万円、経常費用は885億79百万円となっており、この結果、経常収支比率が94.4%となり、前年度に比べ2.7ポイント低下している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち3事業(病院数では26病院のうち3病院)で、前年度と同数(病院数は4病院減少)となっており、その額は55百万円で、前年度に比べ11億65百万円(95.5%)減少している。

経常損失が生じた事業は14事業(23病院)で、前年度に比べ2事業増加(4病院増加)となっており、その額は50億43百万円で、前年度に比べ13億53百万円(36.7%)増加している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は860億25百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は1,008億1百万円となっており、この結果、総収支比率は85.3%で、前年度に比べ12.1ポ

イント低下している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、147億76百万円の純損失が生じており、前年度に比べ126億22百万円（585.7%）増加している。

累積欠損金を有する事業は16事業（25病院）で、前年度に比べ1事業減少（病院は同数）しており、その額は778億27百万円で、前年度に比べ94億25百万円（13.8%）増加している。

なお、平成25年度に不良債務を有する事業はなかったが、平成26年度は不良債務を有する事業が2事業となった。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目	年 度	22	23	24	25 a	26 b	対前年度比較	
							b - a c	(c/a) × 100
総 収 益 A		83,681	81,717	81,321	81,851	86,025	4,173	5.1
経 常 収 益 B		82,942	80,329	80,757	81,348	83,591	2,242	2.8
医 業 収 益 C		73,698	70,201	71,624	72,204	72,317	113	0.2
うち 料 金 収 入		66,908	63,788	65,204	65,634	65,517	▲116	▲0.2
うち 受 託 工 事 収 益 D		0	0	0	0	0	0	—
特 別 利 益		739	1,388	564	503	2,434	1,931	384.0
総 費 用 E		86,419	86,164	82,683	84,006	100,801	16,795	20.0
経 常 費 用 F		85,318	81,300	82,321	83,819	88,579	4,760	5.7
医 業 費 用		81,642	77,888	78,913	80,482	84,224	3,742	4.7
うち 職 員 給 与 費		38,098	37,331	37,188	37,716	38,934	1,218	3.2
支 払 利 息		1,714	1,619	1,637	1,542	1,665	123	8.0
特 別 損 失		1,101	4,864	362	187	12,222	12,035	6,425.7
経 常 損 益		▲2,376	▲971	▲1,564	▲2,470	▲4,988	▲2,518	101.9
経 常 利 益		714	1,306	1,576	1,220	55	▲1,165	▲95.5
経 常 損 失 G		3,090	2,276	3,140	3,690	5,043	1,353	36.7
純 損 益		▲2,738	▲4,447	▲1,362	▲2,155	▲14,776	▲12,622	585.7
純 利 益		931	1,424	1,715	1,372	12	▲1,360	▲99.1
純 損 失		3,669	5,871	3,077	3,527	14,789	11,262	319.3
累 積 欠 損 金 H		69,124	73,571	71,477	68,402	77,827	9,425	13.8
不 良 債 務 I		1,297	558	231	0	827	827	皆増
経 常 収 支 比 率 B/F		97.2	98.8	98.1	97.1	94.4	▲2.7	—
総 収 支 比 率 A/E		96.8	94.8	98.4	97.4	85.3	▲12.1	—
医業収益 に対する 割合	経 常 損 失 比 率 G/(C-D)	4.2	3.2	4.4	5.1	7.0	1.9	—
	累 積 欠 損 金 比 率 H/(C-D)	93.8	104.8	99.8	94.7	107.6	12.9	—
	不 良 債 務 比 率 I/(C-D)	1.8	0.8	0.3	0.0	1.1	1.1	—
総 事 業 数 J		18	18	18	18	18	0	0.0
経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K		14	11	14	12	14	2	16.7
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L		18	18	17	17	16	▲1	▲5.9
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M		3	2	2	0	2	2	皆増
総事業数 に対する 割合	経 常 損 失 を 生 じ た 事 業 数 K/J	77.8	61.1	77.8	66.7	77.8	11.1	—
	累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 L/J	100.0	100.0	94.4	94.4	88.9	▲5.6	—
	不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 M/J	16.7	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	—

（注）不良債務＝（流動負債－建設改良等の財源に充てるための企業債－建設改良等の財源に充てるための長期借入金－地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務（PFI法に基づく事業に係る建設事業費等））－（流動資産－翌年度へ繰り越される支出の財源充当額）

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は271億58百万円で、前年度に比べ63億82百万円（19.0%）減少している。このうち、建設改良費は208億30百万円で、前年度に比べ62億83百万円（23.2%）減少しており、企業債償還金は58億81百万円で、前年度に比べ42百万円（0.7%）減少している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の250億16百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の20億82百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は76.7%で、前年度に比べ4.1ポイント低下しており、建設改良のための企業債償還金の割合は20.1%で、前年度に比べ3.7ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

（単位：百万円、%）

年 度		22	23	24	25	26	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目		a	b	c	×100			
					資本的支出			
	建設改良費	3,850	17,897	10,683	27,112	20,830	▲6,283	▲23.2
	企業債償還金	5,090	5,150	5,858	5,923	5,881	▲42	▲0.7
	うち建設改良費のためのもの	4,670	4,727	4,940	5,492	5,447	▲45	▲0.8
	その他	217	349	1,191	505	432	▲73	▲14.4
	計	9,157	23,397	17,732	33,540	27,158	▲6,382	▲19.0
同 上 財 源								
	内部資金	1,575	1,894	2,877	1,808	2,082	274	15.1
	外部資金	7,572	21,503	14,855	29,791	25,016	▲4,775	▲16.0
	企業債	2,328	14,029	6,317	16,521	17,861	1,340	8.1
	うち建設改良費のためのもの	2,328	14,029	5,827	16,521	17,861	1,340	8.1
	他会計出資金	3,993	4,559	4,553	7,666	4,986	▲2,680	▲35.0
	他会計負担金	320	368	193	553	941	387	70.0
	他会計借入金	0	0	0	0	39	39	皆増
	他会計補助金	148	729	196	529	452	▲76	▲14.5
	国・県補助金	975	1,222	3,385	4,564	2,687	▲1,877	▲41.1
	繰越事業財源（▲）	190	188	23	23	103	81	358.2
	計	9,147	23,397	17,732	31,599	27,097	▲4,501	▲14.2
財源不足額		10	0	0	1,941	61	▲1,881	▲96.9
当年度同意等債で未借入又は未発行の額		10	0	0	1,941	0	▲1,941	皆減
実質財源不足額		0	0	0	0	61	61	皆増

（注）1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－（内部資金＋財源不足額）

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は655億17百万円で、前年度に比べ1億16百万円（0.2%）減少している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が41,198円で、前年度に比べ1,420円（3.6%）増加しており、外来収益が11,116円で379円（3.5%）増加している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは276,894円で1,314円（0.5%）増加しており、看護部門1人当たりでは54,225円で1,338円（2.5%）増加している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度	項 目	22	23	24	25	26	対前年度比較	
					a	b	b - a c	(c/a) ×100
	料 金 収 入（百万円）	66,908	63,788	65,204	65,634	65,517	▲116	▲0.2
内 訳	入院収益（百万円）	44,772	42,084	43,117	43,398	43,078	▲320	▲0.7
	外来収益（百万円）	22,136	21,704	22,087	22,236	22,439	203	0.9
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	35,674	36,789	38,633	39,777	41,198	1,420	3.6
	外 来	10,021	10,112	10,429	10,736	11,116	379	3.5
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	294,630	282,201	282,617	275,580	276,894	1,314	0.5
	看護部門	54,081	52,732	53,624	52,887	54,225	1,338	2.5

（注）平成22年度の患者1人1日当たり診療収入及び職員1人1日当たり診療収入は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が122億95百万円、資本的収入に計上される繰入金が64億18百万円、合わせて187億13百万円で、前年度に比べ15億28百万円（7.5%）減少している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は14.3%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇しており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は25.7%で、前年度に比べ3.7ポイント低下している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は464万9千円で、前年度に比べ32万2千円（6.5%）低下している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目		年 度	22	23	24	25 a	26 b	対前年度比較	
								b - a c	(c/a) ×100
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A	12,790	13,236	11,895	11,492	12,295	803	7.0	
	う ち	負 担 金	10,196	9,458	9,226	8,962	9,184	222	2.5
		補 助 金	1,965	3,243	2,126	2,043	2,301	257	12.6
		特 別 利 益	630	536	543	486	810	324	66.6
	資 本 的 収 入 B	4,461	5,656	4,942	8,749	6,418	▲2,331	▲26.6	
	う ち	出 資 金	3,993	4,559	4,553	7,666	4,986	▲2,680	▲35.0
		負 担 金	320	368	193	553	941	387	70.0
		借 入 金	0	0	0	0	39	39	皆増
		補 助 金	148	729	196	529	452	▲76	▲14.5
	計 (A+B) C		17,251	18,891	16,837	20,241	18,713	▲1,528	▲7.5
総 収 益 D		83,681	81,717	81,321	81,851	86,025	4,173	5.1	
資 本 的 収 入 E		7,639	21,335	14,864	29,787	25,018	▲4,769	▲16.0	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/D	15.3	16.2	14.6	14.0	14.3	0.3	—	
	資本的収入に対する繰入率 B/E	58.4	26.5	33.2	29.4	25.7	▲3.7	—	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)	2,787	3,004	2,755	2,822	3,055	233	8.2	
	資 本 的 収 入 (千円)	972	1,284	1,144	2,149	1,595	▲554	▲25.8	
	計 (千円)	3,759	4,288	3,899	4,971	4,649	▲322	▲6.5	

※ 一床当たり繰入金 = $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が147万4,765円、看護師が45万5,366円、准看護師が44万1,987円、事務職員が53万4,016円、その他の職員が41万8,239円、全職員平均では56万466円で、前年度に比べ11,808円(2.2%)増加している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

年 度 項 目	22	23	24	25 a	26 b	対前年度比較	
						b - a c	(c/a) ×100
医 師	1,490,980	1,476,590	1,457,526	1,448,895	1,474,765	25,870	1.8
看 護 師	445,861	443,400	445,292	439,832	455,366	15,534	3.5
准 看 護 師	487,603	469,958	470,854	472,569	441,987	▲30,581	▲6.5
事 務 職 員	517,860	508,972	505,582	500,546	534,016	33,470	6.7
そ の 他 職 員	438,311	432,573	428,234	425,867	418,239	▲7,628	▲1.8
全 職 員	558,043	552,007	552,822	548,238	560,046	11,808	2.2

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額=(基本給+手当)/年間延職員数

3 平成22年度は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は618人で、前年度に比べ34人(5.2%)減少しており、職員1人当たりの料金収入は1,321万4千円で、前年度に比べ31万3千円(2.3%)減少している。

病床100床当たりの職員数は、医師が16.2人、看護部門職員が84.6人、全職員では136.6人で、前年度に比べ7.2人(5.0%)減少している。

第8表 職員業務量の状況の推移

年 度 項 目	22	23	24	25 a	26 b	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数(人)	699	682	678	652	618	▲34	▲5.2	
職員1人当たり料金収入(千円)	13,366	13,218	13,675	13,527	13,214	▲313	▲2.3	
病床100 床当たり	医 師(人)	14.3	14.7	15.2	16.8	16.2	▲0.6	▲3.6
	看 護 部 門(人)	77.0	78.5	78.7	86.5	84.6	▲1.9	▲2.2
職 員 数	全 職 員(人)	125.1	129.2	130.5	143.8	136.6	▲7.2	▲5.0

(注) 平成22年度の職員1人当たり患者数は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は148億93百万円で、前年度に比べ1億1百万円（0.7%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると22.7%で、前年度に比べ0.2ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は78億45百万円で、前年度に比べ2億62百万円（3.2%）減少しており、患者1人当たりの薬品費は2,560円で、前年度に比べ4円（0.2%）減少している。

薬品使用効率は、投薬分が132.2%、注射分が83.0%、平均で98.9%となっており、前年度に比べ0.1ポイント低下している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較		
		22	23	24	25 _a	26 _b	$\frac{b-a}{c}$	$\frac{(c/a)}{\times 100}$	
料 金 収 入		66,908	63,788	65,204	65,634	65,517	▲116	▲0.2	
医 療 材 料 費		15,784	14,159	14,481	14,793	14,893	101	0.7	
う ち	薬 品 費	8,958	7,853	7,883	8,107	7,845	▲262	▲3.2	
	そ の 他 材 料 費	6,826	6,306	6,597	6,685	7,049	363	5.4	
料金収入 に対する 割 合	医 療 材 料 費	23.6	22.2	22.2	22.5	22.7	0.2	—	
	う ち	薬 品 費	13.4	12.3	12.1	12.4	12.0	▲0.4	—
		そ の 他 材 料 費	10.2	9.9	10.1	10.2	10.8	0.6	—
患者1人当たり薬品費(円)		2,607	2,387	2,438	2,564	2,560	▲4	▲0.2	
薬品使用 効 率	投 薬	123.1	135.3	126.5	129.9	132.2	2.2	—	
	注 射	85.4	86.6	85.5	83.0	83.0	▲0.0	—	
	平 均	99.9	104.0	100.4	99.0	98.9	▲0.1	—	

(注)1 平成22年度の患者1人当たり薬品費は、東日本大震災の影響により算出できない南三陸町の数値を除いている。

2 平成22年度の薬品使用効率は、東日本大震災の影響により算出できない石巻市立病院、石巻市立雄勝病院及び気仙沼市立本吉病院の数値を除いている。